

パフォーマトラックマスクの使用経験

近藤康博

最近では、新型インフルエンザによって、感染対策に関する話題が大きく取り上げられディスプレイ製品に注目が集まってきている。今回、我々の施設ではレスピロニクス社より新発売された院内使用向けディスプレイマスクの“パフォーマトラックマスク”の使用感について考察を行った。

NPPVで人工呼吸管理を成功させるカギのひとつとしてマスクの選択があげられる。このマスクの特徴はユニークな形状のキャップストラップヘッドギアにあり(図1)、通常のマスクではひも状のストラップでマスクを固定するため、ストラップのねじれや固定する位置を合わせるのに手間がかかった。このキャップストラップでは前頭部にパッドをあわせるだけでおおよその位置が決定され、あとはストラップを締め付けるだけでマスクの装着は完了する。これにより、装着時間の短縮に伴い医療スタッフの煩わしさはかなり軽減される。マスクの固定もかなりしっかりと安定するので、頻繁に体位の変換が必要であったり体動が多い患者であってもマスクからのリークやマスク外れも軽減

できる。

さらに、もうひとつユニークな点はNPPV施行中のオーラルケアや顔面へのアクセスに対して、マスクやストラップを完全に外すことなく、処置ができることであり(図2)、NPPV施行中の医療スタッフの労力軽減に有効であろう。

また、院内で使用するには感染対策を考えた場合、ディスプレイ製品であることが望ましいが、その反面、安価であるということから材質が悪く、NPPV施行中に顔面の皮膚損傷がしばしば見られた。しかしこの“パフォーマトラックキャップマスク”はディスプレイでありながら滅菌可能なマスクとほとんど替わらない質感で非常に皮膚にも優しい材質であった。

最後に、“パフォーマトラックマスク”は口鼻と鼻の2種類でサイズは各3種類あるが、クッション部の形状は1種類であり、今後、ディスプレイマスクの種類が増えることを期待する。



図1



図2



PerformaTrak

届出番号 フルフェイスマスク:11B1X00022000012 / ネーザルマスク:11B1X00022000011

新たにデザインされたCapStrapシステムが
日常のケアを快適かつスムーズにサポートします。



スピーディかつ容易なマスクフィッティングを可能にしたCapStrapシステム。



マスクを引き上げるだけで容易に食事や飲み物を摂ることができます。



CapStrapが安定性を保つので圧迫感を軽減し心地よい装着感を提供します。

- 院内での使用に適したシングルユースタイプ。
- 快適性、使いやすさ、安定性にすぐれたCapStrapシステム。
- フルフェイスマスク・SEフルフェイスマスク・SEネーザルマスクの3ラインナップ。
- スイベルクリップによりマスクの着脱が容易です。
- マスクフィッティングはマジックテープによる簡単調整。
- フォーヘッドサポートを調整し、最適なマスクの角度で装着できます。



Full Face Mask



SE Full Face Mask



SE Nasal Mask

フジ・レスピロニクス株式会社

本社: 〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-6 www.fuji-respironics.com